

ちょろ可愛い人狼族娘ちゃんと禁断の愛
敵同士だけど、ベッドの上では雄と雌
抱いて、抱いて、求婚してからまた抱こうっ♡

「げっ、結婚してくれって……私たちは敵同士だぞっ！」

前から狙っていた敵軍の女兵士を
捕虜にしたので、エッチなことしながら
求婚することにしましたっ!!

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

基本CG 17枚 差分 337枚 総枚数 670枚

神、悪魔、精霊にエルフ、ドワーフ、獣人、人間

英雄と魔王、 剣と魔法、 魔術に妖術、 化学に科学

そういったものがごちゃ混ぜで存在する世界……

そんな世界で私（貴方）は今、ある作戦の指揮をとっていた

私（貴方）は王国軍所属の遊撃部隊長を務めている

隊長と言えば聞こえはいいが、その実態はただの中間管理職で、現在の勤務先は、戦略的価値の低い地方の小規模砦だ

主な仕事は時々ちよつかいをかけてくる魔王軍を追っ払うこと

平和で退屈な軍隊生活を送っていたある日、妙な噂が流れてきた

山一つ越えた先にある、我が軍の砦の兵士達が捕まったらしい

戦争中だから、一人や二人そんなことになってもおかしくないが、なんでもその砦の遊撃部隊員丸々全て捕虜になったそうだ

捕まった部隊の隊長は同郷で、人となりもある程度は知っている

ヤツはそんなヘマをするような男ではないはずなのだが……

何かがおかしい……そう感じた私（貴方）は情報收拾を行い、

魔王軍内部で、とんでもないキャンペーンが実行中だと知った

私（貴方）は一人狂喜した……絶好のチャンスが来たのだと

おい副長っ、後ろだっ！ちいっ、だから言ったのにっ！
くそっ、残ったのは私だけか……一体なんだというのだ
一人ずつ畏にかけて生け捕るだなんて……
こんな戦い方、まったくもってアイツらしくないっ！
それとも、敵の指揮官が代わったのか……くそっ！



なっ！ 貴様は……おい、どういふことだっ！

今日の指揮も貴様がとっていたのか？

なんだこの戦いはっ！ いつもみたいに正々堂々戦えっ！

その得意げな表情はなんなんだっ、ちゃんと答えろっ！

計画どおり

(・▽・)

私（貴方）が練った策が功を奏したようで、敵部隊のほとんどをほぼ無傷の状態で捕獲することに成功していた

今捕らえた兵士の他には、こちらを睨んでいる彼女だけとなった
驚きと怒りの表情で私（貴方）を見つめるこの人狼族の女は、女性ばかりで構成されている魔王軍の攻撃部隊長である
日頃の小競り合いの相手はもっぱら彼女の部隊で、戦場で何度も刃を交えた間柄だ

戦った相手だからこそわかるが、彼女は強者に媚びず、弱者に優しい……私（貴方）達と戦う時は常に前線に立ち、傷ついた部下を見捨てず、何度も殿に立っていた
そんな彼女の姿に、敵ながら尊敬の念を抱かざるを得なかった
いや……もうなんというかそんなレベルでなくて、その……

ぶつちやけ彼女に惚れている

だってさ、綺麗でスタイルよくって、強くて部下思いで、さらには

犬（狼）耳で、モフモフ尻尾で……惚れない要素ないっしょっ！

……話がだいぶそれてしまったが、今回の作戦の最終目標は、彼女を捕虜とすることなのである

……私は貴様のことをだいたいぶ買いかぶっていたようだな
私の拳技を前にしても一歩も引かない剣の腕、
戦況を冷静に判断できる頭脳、部下を決して見捨てない度量、
近くで見ると意外と整った顔立ちと、その引き締まった肉体
人族にしては骨のあるヤツだと思っていたが……って何だ？
人が真面目な話をしているのに、何モジモジしているっ！

モジモジ
(* ω)



はあっ？い、いやっ、違っ………今は言葉のあやで、
べっ、別にお前の「こ」とちよつといいなあ〜とか思ってたわけじゃっ
……うっ、うるさいっ！うるさいうるさいっ！
こっ、こんな姑息な手をつかってくるとは、見損なっただぞっ！
男なら正々堂々、私と一対一で戦えっ！
腰にぶらさげている剣は飾りかっ！

(カワイイッ)

(* ´Д`)

ふん、やっとその気になったか……

何をコソコソと悪巧みをしていたのかは知らんが、

戦は正々堂々、邪魔するやつは真正面から叩き潰すっ！

それが私の戦い方だからな……ん？ なんだ今更命乞いか？

ウケテタツツ!
(´・ω・`)



……ほう、貴様に勝てば、部下全員返してくれるのだから？
ああ、もし私が負けたら、大人しく捕虜になろう
煮るなり焼くなり、好きにするといひ……

いざ、勝負っ！



結論から言うと、彼女との一騎打ちは私（貴方）が勝った
お互い万全の状態であったなら、勝敗は五分五分だっただろう
実際、何度か危うい一撃をもらいかけてたりしたのだ

しかし彼女は決闘を行うまでに多くの部下を捕虜にされ、
精神的に焦りがあつたのだろう……その隙についての勝利だった

なにはともあれ、勝ちには勝ちである

彼女を捕虜にするという最終目標は達成された

さらに敵味方一人の死者も出さずに無事砦に戻ってこれた
これ以上のことは望めないくらいに大成功である

捕虜達は装備を全て取り上げ、逃げられないよう手錠と

念のため従属魔法をかけた後、必要なものには傷の治療をし、

入浴後に清潔な衣服に着替えさせ、十分な食事を与え、
収容所に入れ、ゆっくりと休息をとらせた

私（貴方）は逸る気持ちを必死に抑えながら、

今回の作戦の報告書作成を怒涛のスピードで行い、

それを提出した足で、彼女が収容されている部屋へと急いだ

そう、ある意味では本当の戦いはこれからなのであるっ！

なんだ、貴様か……ふん、敗者を笑いにでもきたのか
それよりも部下たちはどうしている、全員無事だろうか！
というか、なぜ私だけ個室にいれられているのさ？
はあ？ 捕虜全員に個室が与えられているさ？
……貴様、本当になにを考えているんだ？ 何が目的だっ！

ヌッフッフー
(*^ω^)



私（貴方）が情報収集を行った結果、魔王軍は現在、

『将来、魔王様の右腕として活躍するのは

君の子供かもしれないキャンペーン！』

という、謎のキャンペーンが開催されていることがわかった
戦争中である我が王国軍と魔王軍の戦力は拮抗状態にあり、
近いうちに休戦状態になるだろうと魔王軍幹部たちは考えた
停戦や講和ではなく休戦の可能性が高いと考えた彼らは、
将来的な戦力を拡大するため、とにかく生めよ増やせよで、
ベビーブームを巻き起こし、そこから生まれてくるであろう
優秀な子供たちに将来、拮抗状態を打破してもらおうという、
とんでもなく他人任せな結論に至ったようだ

魔王軍の九割以上が女性なので、父親の種族は問わないらしい
参加条件を満たすと、手厚い生活保障が受けられるらしく、
結婚適齢期が多い部隊では、手当たりしだいに男性を

攫っているらしく、既にあちこちの街や砦が襲撃されたそうだし
山一つ越えた先にある我が軍の砦の兵士たちが捕虜になったのは、
おそらくこのキャンペーンの餌食になったのだろう

私（貴方）は、この事実を知り、今回の作戦を思いついたのだ前々から彼女をどうにかして自分の妻にしたいと考えていたが、惚れた女が敵軍にいたので捕虜にしたい！」などとは言えず、戦場で、しかも敵味方に分かれた状態でしか会えず、お互い、いつ命を落とすかわからない軍人同士そんな八方塞状態の時に、この情報を知り、やるなら今しかないっ！と行動に移したのだった

「魔王軍兵士を多数捕虜にし、詳しい内情を探ります」
本国や上官にはそう提案し、今回の作戦を了承させた国としても、あちこちで若い男達が誘拐されているのを放置するわけにもいかないので、割と簡単に作戦は許可された部隊の隊員達への説得も、皆独身だったので簡単だった
「作戦が成功した後は、捕虜達との交流を認める

互いに合意のうえであるなら、ある程度のこととは目をつぶる」
作戦前にこう宣言したところ、大いに士気が上がった

もちろん彼女だけは隊長権限で、誰にも渡さないようにした
今頃私（貴方）の部下達と、彼女の部下達は、ちよつとしたお見合いパーティー状態になっていることだろう

なっ！なぜ貴様がそのキャンペーンの「こ」を知っているっ！
ぬう、油断ならない男だとは思っていたが、「これほどとは
……しかし、それと我々捕虜が個室を与えられるのと、
一体なんの関係が……はっ！ま、まさか貴様……

ドキドキッ

(* ω)

わっ、我々を貴様達の欲望の捌け口にする気だなっ！
巷で噂の、ウ・ス異ホンみたいに私に乱暴する気だろう
体は自由にできても、心は絶対に屈したり……えっ？
好き？ 結婚して欲しい？ わっ、私と貴様がか？

スキデスツ！
(* > D <)



なっ、なにを突然世迷言を……すっ、好きだなんて
ましてやいきなり結婚して欲しいなんて……

そ、そういうのはお互いのことをよく知ったうえでだ……

ひっ、一目惚れ？ 貴様は私のことをずっとそんな目で、うっ

い、いや、別に恋人とかはいないが……いないけど……

そわ
そわ

もじ
もじ

(カワイイッ)

(* ω)

はっ！ わかったぞ、 貴様そうやって私をたぶらかして、
我が軍の内情を探ろうつという魂胆なのだろうっ！
残念だったな、 私はそんなちよろい女ではないのだった！
それにしても貴様、 そこまで性根が腐っていたのかっ！

エー
(;-D-)



ふん、貴様の計画などお見通しさ
もつとも、私をいくら拷問しても、お前が欲しが
る情報は何も手に入らない……なにせ私は戦うのが
専門で、細かいことは全部本国からの指示に従っ
ていただけだから、だから、私を相手に好きだ
の結婚して欲しいだのと言っ
たぶらかそうとしても、なんの意味もないのだよ

ゴウモンナンテ
シナイツテバ
(; - ω -)



何度も言ってるだろう？ 私は脳筋隊長だから、
重要機密などの情報は元々知らされてないってさ
貴様の計画は失敗に終わったというわけだ……
まあ、お前からの好意は嘘でも、案外悪い気はしなかったな
いや、なんでもない……用が済んだなら、さっさと出て行け



ビ`キビ`キイツ
(#`ω`)

ちよっ！ なっ、 どうしたんだ急にっ、 なにをそんな怒って、
くうっ、 従属魔法を起動させて……私をどうする気だっ？
ベッドに座れ？ な、 なんでそんな……ええええええっ！
わっ、 私を今から抱くって……お前、 何を言ってるんだっ！

おまお、

おまお！！

おまお

おまお

ジツリヨクコウシ
アルノミツ!!
(- ω -)



おっ、おい……じよ、冗談には悪乗りが過ぎるぞ？

こんな、従属魔法まで使って……ひゃっ！肩をいきなり掴むなっ！
というか、近い近い！な、何をお前はそんなに怒っているんだ？

ポウツ

カッ
カッ
カッ

ガッ



本当に愛してるって……そう、そんなこと信じられるか、私と貴様は敵同士だぞっ！
それにお互いのことを全然知らない……知っているのは戦場の顔だけだ
まっ、まあ確かに、これから知り合っていけばいいだけの話だろうけどさ……

うっうっ

もじっ
もじっ


って違っっ！ そうじゃなくて……我が軍の内情を得ようとしないうのなら、
今回の戦いの目的はなんだ？ いつものお前らしくもない姑息な手段を使って、
私達全員を捕虜にする必要がどこにあったというのだ？

なにっ？ 今回の戦いの目的は、私を捕虜にすることだった？

魔王軍のキャンペーンの詳細を知る為というのを口実に上官たちを丸め込んだ？


……おい貴様、今の話は本当なのか！





今の話が本当なら、貴様は指揮官失格だ……私一人を捕虜にするためだけに
お前は多くの部下の命を危険にさらしたということだぞ、わかっているのか？

……どうやら本当に私はお前を買いかぶりすぎていたようだな



はあ？ 双方共に戦死者無しで、軽傷者が数名出ただけ？ 信じられんな……
「最初から安全第一を考えて練りに練った作戦だから問題ない」だと？
ふん、たいした策士様だな……え、後で私の部下達全員と会わせるというのか？

……わかった、今はそれで納得しよう、これ以上何をいっても、
所詮負け犬の遠吠えにしかすぎないからな……だが、部下の安全は保障しろ
拷問も尋問も何もするな、するなら私に全てしろ……いいな？

ちよっ、なんなんだ、この手は、やめっ、撫でるなあ……んうっ
私を抱くって……あれ、本気で言ってたのか！

というか、さっきまで真面目な話してたのに、変わり身早すぎだろっ！

びくっ

なづ
なづ

あー！くっくっ……「」のおっ、なに勝手に人の胸触って……んっ
い、いくらなんでも、悪ぶどけがすぎるぞっ、うっくっ

ビクッ
ビクッ

ずっ
ずっ

わっ
わっ

「好きすぎて手が勝手に」って、なんだその言い訳はっ！

つくならもっとうマシな嘘を……あっ

「っ、」の屈辱、絶対に忘れないからなっ！



はあ？ スポン脱いで欲しいって、お前何言ってるんだ！

いっ、嫌に決まってるだろう！ そんな恥ずかしいことできるわけないって

あっ、ちよっ！ 貴様っ！ また従属魔法使う気なのか……やめっ！

ちよっ！！

スリ
スリ
スリ



きつ、貴様……こんなことしてただで済むと思っっているのかっ！

はあ？ 責任をとって結婚するだど？ ばっ、ばかっ！

そっいう話をしているんじゃないっ！ あっ、「ち、さっ、触るなっ！」

ほっ、ほっ

うっ、うっ

ぷらっ、んっ♡



ううううう、 そんないやらしい撫で方を……ひうっ、 するなあっ
やめっ……胸も触るなってばあ、 んあっ♡
ち、 違っっ、 今のは勝手に声が出ちゃったただけだ、 ばかあっ！

めうっ

ゾクツツ♡
ゾクツツ♡

なぐ
なぐ



きつ、貴様！いくらなんでもやりすぎだつ！

手を離せ、あつ……「らっ！」シャツをめくるなつてばっ！

やあつ

ぐい

たんぽつ♡

サワツツ
サワツツ

だめ……本当にだめだつて言つて……あつ

やあつ！みつ、見るな変態つ！スケベ、ばかばかばかつ！



やめるお、見るなよお……うう、恥ずかしい

はあ？き、綺麗だとか……そ、そんな見え透いたお世辞なんかで……んくっ♡

ううっ

キッキッ

（耳元で優しく囁くように「綺麗だ」とか言うな、本当になんなんだよ、こいつはくそっ、胸がドキドキするし、顔が物凄く熱くて、火を噴きそうだ

私は魔王軍遊撃部隊隊長だぞ！（これじゃ完全にちよろい女じゃないかっ！）



おっ、おい……なんかお尻に硬いものが当たってるんだが、これってもしかして……
やめっ、やめろっ！ そんなグリグリ押し付けてくるなってばっ！

んっ、んっ

びゅん、びゅん

なんで私のせいになるのだ……はあ？

おっぱいが綺麗過ぎてこうなっただと？ しっ、知るかそんなことっ！

だ、だから私に押し付けってくるなって言ってるだろっ！

なんだ？む、胸を直接触りたいのか？……いや、なんで今更聞く？

私がやめろって言ったのに、お前はズボン脱がすし、シャツめくったじゃないか

はふうっ

今も股間を嫌がる私にグリグリ押し付けてたのに……どういっつもりだ？

「これ以上やったら流石に後戻りできない」か……なるほど

いつ、一応お前にも最低限の理性は残っていたようだな……んっ

ふん、お前の好きにしる……そもそも最初から抱くつもりだったのだろうか？

それに私はお前との決闘に負け、今は捕虜の身なんだから、拒否権なんてない

ふんっ

どきっ♡
どきっ♡

ただし、さっきも言ったが、部下の安全だけは絶対に保障しろ

もし部下に何かあったら、体が壊れようと、従属魔法に抗ってお前を殺す

そっ、それと……その、私は経験がないから……やっ、優しくしろ

ちよっ、いきなり乳首摘んじゃ……

んはあっ



わっ
わっ

はあんっ♡

ん
ん

わっ♡
わっ♡

だめっ、やっ、優しくしろって言ったのにいっ、はあん♡
くっっ……んはっ♡ちがっ、エッチな声なんて、そんな声出してないっ！



「う、うっ！ そんな乱暴に揉むんじゃ……はあんっ♡

♡♡♡♡♡ 調子いいのよ、う、うのせ……あんな♡

ちゅっ♡♡

おっぱい

うっ

クク♡♡♡
クク♡♡♡

んっっ……うっ、うるさいっ！いちいち胸の感想なんて言わなくていいっ！

あと、はっっ♡ さっきから好き好き言いすぎだ……ばかっ

おっぱい

んっっ♡

おっぱい

ブルブル♡

（いっっ、私の胸そんなに触りたかったのか？ さっきから凄い必死な表情で揉んでるし
ゴツゴツした手だけど、なんかほんのり温かくて……嫌な感じは、しないな）

ええっ！あ、足を開けと言っのか？だ、だめだそんな、だって今凄く……うっ
たっ、確かにお前の好きにしろとは言ったけど……えっつと、その……

ええっ！！

キムミ

キツ

クミミ

（ど、どうする……足開いたら下着、凄く濡れているのがバレてしまうっ！）

ひっ、引かれたりしないか？エッチなヤツだって思われて幻滅されでもしたら……

っていやいや、なんだ私は！恋する乙女かっ！違っだろっがっ！

私は魔王軍遊撃部隊長なんだぞっ！チヨロい女では断じてないっ！

がるるうっ……私は今、割と本気で前をどうすれば殺せるか考えてるぞ
従属魔法が発動する前になんとか喉元に噛みつけられないものか……うっうっ

がるるうっ

なで
なで
なで

おい、気安く人の頭を撫でるな……あとさりげなく耳も一緒に触るなっ！

私は犬じゃないんだ、狼なんだぞっ！ 貴様、そのへん本当にわかっているのか？

人の話を聞いて……ちよ、待て、お前どっ触ろうとして……あっ♡



はあ？「俺の愛撫で感じてくれて嬉しい」って……何を言ってるんだお前はっ！
ふんっ、こんなのただの生理現況に過ぎないだけだ……あと頭を撫でるな

さわさわ

くっくっ

キッ♡
キッ♡

（よかった……スケベな女だと、引かれなくて、本当によかった
いっ、いやっ、違うぞ？ 私は別にコイツに嫌われても構わないが、今嫌われると、
部下の安全が……そうっ！ 部下の安全の為だから……うん、そうそう）

んああああっ♡だめだっ、そんな……速く動かすなっ、んくうっ♡

やあっ、ばかばかっ！音、わざと音立てるなって、恥ずかしいだろうっ、はああんっ♡

んあっ♡

わぁっ

んあっ♡
んあっ♡

んあっ♡
んあっ♡

（どうしよう……凄いい気持ちいい♡一人でするのは全然違う

なんで、どうしてこんなに感じるんだ？魔法や薬が使われた感じはしないが

まさか相手がコイツだから？うう、だめだ、気持ちよくて考えがまとまらない）

あふっ、んっ♡な、なんだ、今度はどうした？えっ、もう我慢できない？
あつ……えっと、本当に、する気なのか？ふっ、ふん……好きにしるっ！

ほっ♡

ふうっ♡

ブルルッ♡

どっどっ♡

(私、これからいつと交尾をするんだな……部下の為だから仕方ない(一回目)
そう……大事な部下を守るため、仕方なく(二回目)こいつに抱かれるのだ
しかし私の処女を捧げる相手がこいつとは……まあ、仕方ないか(三回目)♡)



あつ、ああ……大丈夫だ……けど、お前のソレ、
ちよつと大きすぎないか？ 本当にソレが私の膣内に入るのか？
なんかちよつと無理そうな感じがしなくもないんだが……

んっ

ゴボッ
ゴボッ

んっ
んっ

タブン……
ダイジョウブか
(;-ω-)

ゴッ
ゴッ



いっ、いいかっ！ 何度も言うが、私は初めてだからなっ！
やっ、優しくしろよ？ 痛くしたら、後でぶっからなっ！
別に怖気づいたりしてるわけじゃないぞ、勘違いするなよっ！

うっう

ぶるるる
ぶるるる

ゼンシヨシマスツ!!

(・ω・)



んあっ、熱っ……熱いのが入って……くるっっ、はっっ
だっ、大丈夫……はあっ、痛くはない……ああ
このまま、奥まで来てくれ

はあっ

ズンズン

アッ



はっっ……お前のが、どんどん私の膈内に……

あっっっくあっっく……いっ、痛っ、ひぐっ

んあっ、あああああ

んああ

ゴクン
ゴクン

グチャ
グチャ

ゴクン

ひぐっ、うっっ……はあ、ふうっ、全部、入ったか？

そうか、あんな大きいのが……案外なんとかなるものだな
はふっ……あ、あまり大丈夫ではないな、結構痛いぞ

ぐすっ

ぶるっ
ぶるっ

ピクッ
ピクッ

ミスター

ダッ、ダイジョウブ？

(;-ω-)

悪いが、少しジツとしていてくれ……すぐに動かれると辛い
んくっ、それと痛くするなって言ったのに、痛くしたから、
宣言通り、後でお前のことぶつからな……覚悟しておけ

はっ！

ソナー
(´;ω;))

ズンズン

はふっっ、少しはマシンになったとは……んっ、思う
ああ、ゆっくりと動く程度なら大丈夫だ……あうっ
へっ、平気だ、少し痛みを感じるが、この程度なら……んっ

んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ
んっ
んっ

んくっ……ふっ、んうっ♡あ、ああ、大丈夫……だっ
さっきより、だいぶ楽になってきた……んっ
少しだけ動きを速くしても、いいぞ……す、少しだけだぞ？

ふっ

んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ



はあんっ♡いやっ、その……だっ大丈夫、少し驚いたただけだ
ああ、痛みは感じてないから、はうっ……へっ、平気だ
今ぐらいの速度で……動いて、あんっ♡なっ、なんでもない

はっっ

ズン♡
ズン♡
ズン♡

おんっ
おんっ

（痛みが和らいできたのはいいが、今度はお腹の中が変な感じだ
熱を持ったようで……むず痒いような、痛気持ちいいような
……ひょっとして、「これって膣内で感じてるのか？」）

ふあっ、 あんっ♡……えっ？ な、 なんで動きを止める？
せつかく気持ちよくなって……はっ！ ちっ、 違っぞっ！
感じ始めてきたとか、 全然……全然そんなじゃないぞっ！

はっ

ふっ

ブルブル♡

らっ♡
らっ♡

ニヤニヤ
（.A.）

んんん

なっ、なんだその「大丈夫、わかってますよ」みたいな顔はっ！
ぐぬぬっ……今すぐにその首に噛み付いてやりたい気分だ
いっ、いいか！絶対に「この」とは私の部下達には言うなよっ！

ぐぬぬっ

びびる

ワカッテマスヨ
q(、A、)

わっ、私だって戸惑ってるんだ……痛いと聞いていた
初めての交尾で、自分がこんなすぐ感じるようになるなんて
やっぱり、私はスケベな女だったのだろうか……え？

ぐすん

スケベダツテ
イイジヤナイツ!

(・ω・)

スケベだっていいって、でもそれは……うう、たっ、確かに
二人だけの秘密にすれば、なんの問題も……ない、のか？
うるさいっ！スケベは褒め言葉じゃないし、好き好き言っなっ！

んっっ

グッ♡
グッ♡
グッ♡

キムドリ♡

スケベナキミモ
ダイスキデスッ!

(* ^)

とっ、とにかく二人だけの秘密だぞっ！ 誰にも言うなよっ！
それと一つ言っておくが、私が仮にスケベな女だとしても、
相手がお前以外の男だったら、全力で抵抗しただろう

かつ、勘違いするなよ、お前の方が幾分マシって意味だからな

はあっ

もじっ♡
もじっ♡

とん♡
まっ♡

キュンッ!!
(* / D)

とっ、とにかく二人だけの秘密だぞっ！ 誰にも言うなよっ！
それと一つ言っておくが、私が仮にスケベな女たとしても、
相手がお前以外の男だったら、全力で抵抗しただろう

かつ、勘違いするなよ、お前の方が幾分マシって意味だからな

はあっ

もしっ♡

もしっ♡

くっ♡

キュンツ!!
(*´Д`)

……本編へ続く